

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 リンナイ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 5947 URL <http://www.rinnai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 小杉 将夫

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	102,030	△10.9	6,701	5.9	7,009	14.2	4,043	22.8
21年3月期第2四半期	114,479	—	6,329	—	6,138	—	3,292	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	74.89	—
21年3月期第2四半期	60.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	206,609	134,710	63.6	2,540.22
21年3月期	210,825	138,794	64.5	2,510.60

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 131,491百万円 21年3月期 135,987百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	20.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	228,000	△3.7	17,000	12.8	18,000	38.9	10,000	159.9	188.81

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	54,216,463株	21年3月期	54,216,463株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,452,424株	21年3月期	51,119株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	53,993,082株	21年3月期第2四半期	54,170,017株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の個人消費刺激策に加え、企業の在庫調整が一巡したことにより、一部で景気は持ち直しに向かうものの、雇用情勢の悪化や世界景気の下振れ懸念により景況の厳しさを払拭できない状況が続いております。住宅設備業界では、雇用・所得環境の悪化を背景に新設住宅着工戸数の大幅な前年割れが続き、リフォーム需要にも明るさが見えない厳しい状況であります。

このような状況のもと、当社グループは今年度をスタートとする中期経営計画「改革と躍進」に沿って、「改革」を重点に置いた経営施策を展開してまいりました。販売面では、国内の新設住宅着工戸数減少の影響を受けたものの、厨房機器では買替需要に支えられたビルトインコンロの新製品が堅調な結果となり、テーブルコンロにおいても順調に販売数を伸ばしました。給湯機器でも大幅な軽量化を実現した給湯暖房機の新製品が好調な受注を得て、国内販売は前年並みで推移しました。海外では、韓国や北米市場で景気後退の影響を強く受けましたが、世界的な環境志向の高まりから各国の環境政策の積極推進が当社グループの環境商品を後押ししたことに加え、主要国でのブランド認知の向上が相乗効果となって、総じて堅調な結果となりました。しかしながら、引き続き円高の影響は海外売上を大きく減少させる結果となりました。

損益面では、国内での徹底したムダ取り活動をはじめ、重点商品の品質、コストの造り込みや製造固定費の圧縮を実施し、海外では韓国子会社の経営改善を強力に推し進めるとともに販売子会社においては販促・プロモーション費用のコスト削減を進めるなど、グループ全体で利益体質を強化する施策を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高1,020億30百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益67億1百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益70億9百万円（前年同期比14.2%増）、四半期純利益40億43百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

主な部門別の売上高の概況は次のとおりであります。

〈厨房機器部門〉

国内では、新設住宅着工戸数の低迷から新築向けのシステムキッチンコンロが影響を受けるものの、調理性・操作性・デザイン性を追求した「Mytone（マイトーン）」シリーズが好調に推移しております。海外においては、韓国での住宅需要の不振からオーブンの売上が減少したため、厨房機器全体の売上高は前年同期比6.3%減の363億37百万円となりました。

〈給湯機器部門〉

国内では、環境に大きく貢献する高効率給湯器「エコジョーズ」シリーズの中で、大幅に本体重量を軽減させ、施工性が向上した給湯暖房機「RVD-E」シリーズが販売を伸ばしました。しかし、海外全般の為替影響が響く中で、アメリカでの景気低迷の長期化による市場の落ち込みもあり、給湯機器全体の売上高は前年同期比9.0%減の458億74百万円となりました。

〈空調機器部門〉

暖房機が需要期となるオセアニア地域において総じて堅調な需要でありましたが、為替のマイナス影響から、空調機器全体の売上高は前年同期比23.1%減の65億31百万円となりました。

(売上高の内訳)

機器別	前第2四半期累計期間 (平成20年4月1日～ 平成20年9月30日)		当第2四半期累計期間 (平成21年4月1日～ 平成21年9月30日)		増減		(参考)前期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
厨房機器	38,781	33.9	36,337	35.6	△2,444	△6.3	81,166	34.3
給湯機器	50,414	44.0	45,874	45.0	△4,539	△9.0	106,567	45.0
空調機器	8,496	7.4	6,531	6.4	△1,964	△23.1	17,309	7.3
業用機器	3,434	3.0	2,974	2.9	△459	△13.4	6,226	2.6
その他	13,351	11.7	10,311	10.1	△3,039	△22.8	25,470	10.8
合計	114,479	100.0	102,030	100.0	△12,448	△10.9	236,741	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は前期末に比べて42億16百万円減少し、2,066億9百万円となりました。また、負債は1億32百万円減少し718億98百万円となり、純資産は40億83百万円減少し1,347億10百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は63.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて61億69百万円減少し、367億73百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

仕入債務が減少した一方で、営業利益の確保や売上債権の減少等により、営業活動によって得られた資金は81億90百万円（前年同期は20億45百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

固定資産の取得による支出および投資有価証券の取得による支出等により、投資活動の結果支出した資金は50億60百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式の取得による支出および配当金の支払い等により、財務活動の結果支出した資金は109億19百万円（前年同期は35億9百万円の収入）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

・税金費用の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,951	21,728
受取手形及び売掛金	52,537	51,972
有価証券	22,000	30,633
商品及び製品	16,032	16,213
原材料及び貯蔵品	9,611	9,224
その他	4,017	3,619
貸倒引当金	△2,264	△1,875
流動資産合計	123,886	131,517
固定資産		
有形固定資産	43,472	41,332
無形固定資産	1,491	1,409
投資その他の資産		
投資有価証券	26,108	25,376
その他	12,750	12,239
貸倒引当金	△1,099	△1,048
投資その他の資産合計	37,759	36,567
固定資産合計	82,723	79,308
資産合計	206,609	210,825

(単位: 百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,852	37,696
短期借入金	10,670	6,807
未払法人税等	3,027	3,240
賞与引当金	2,791	2,448
その他の引当金	255	271
その他	12,477	11,992
流動負債合計	65,074	62,456
固定負債		
長期借入金	2	3,000
退職給付引当金	4,513	4,242
その他の引当金	43	62
その他	2,264	2,270
固定負債合計	6,823	9,575
負債合計	71,898	72,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,719	8,719
利益剰余金	127,999	125,336
自己株式	△10,380	△151
株主資本合計	132,798	140,364
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△189	△1,471
為替換算調整勘定	△1,117	△2,905
評価・換算差額等合計	△1,306	△4,377
少数株主持分	3,218	2,806
純資産合計	134,710	138,794
負債純資産合計	206,609	210,825

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	114,479	102,030
売上原価	81,741	71,847
売上総利益	32,737	30,182
販売費及び一般管理費	26,407	23,481
営業利益	6,329	6,701
営業外収益		
受取利息	474	268
持分法による投資利益	340	190
その他	403	548
営業外収益合計	1,219	1,008
営業外費用		
支払利息	428	250
為替差損	938	424
その他	44	25
営業外費用合計	1,411	700
経常利益	6,138	7,009
特別利益		
固定資産売却益	37	76
貸倒引当金戻入額	11	65
関係会社清算益	13	—
特別利益合計	62	141
特別損失		
固定資産除却損	53	77
投資有価証券評価損	39	56
その他	10	30
特別損失合計	103	164
税金等調整前四半期純利益	6,097	6,985
法人税、住民税及び事業税	3,391	3,075
法人税等調整額	△332	△336
法人税等合計	3,059	2,739
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△253	203
四半期純利益	3,292	4,043

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,097	6,985
減価償却費	4,070	3,815
賞与引当金の増減額 (△は減少)	420	339
売上債権の増減額 (△は増加)	4,416	2,438
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,575	717
仕入債務の増減額 (△は減少)	△409	△3,835
その他	△6,868	732
小計	2,151	11,194
利息及び配当金の受取額	706	569
利息の支払額	△422	△270
法人税等の支払額	△4,479	△3,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,045	8,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,336	△4,897
定期預金の払戻による収入	6,393	6,505
有形固定資産の取得による支出	△4,833	△5,367
投資有価証券の取得による支出	△3,639	△1,768
その他	2,910	466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,505	△5,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,846	425
自己株式の取得による支出	—	△10,229
配当金の支払額	△974	△1,083
その他	△362	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,509	△10,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	632	1,251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,408	△6,538
現金及び現金同等物の期首残高	39,178	42,943
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	368
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,770	36,773

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループの事業内容は、熱機器等の製造及び販売であり、その製品の種類・性質・製造方法・販売市場等の類似性を考慮しますと、単一のセグメントに依拠しているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	74,798	22,682	16,997	114,479	—	114,479
(2) セグメント間の内部売上高	9,582	1,376	320	11,280	(11,280)	—
計	84,381	24,059	17,318	125,759	(11,280)	114,479
営業利益又は営業損失(△)	5,096	△983	2,285	6,398	(68)	6,329

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	72,810	16,086	13,133	102,030	—	102,030
(2) セグメント間の内部売上高	7,676	1,376	95	9,147	(9,147)	—
計	80,486	17,463	13,228	111,177	(9,147)	102,030
営業利益	5,453	554	1,023	7,031	(329)	6,701

(注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア…韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、ベトナム

その他の地域…アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	25,154	18,512	43,666
II 連結売上高（百万円）	—	—	114,479
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	22.0	16.2	38.1

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	18,379	14,335	32,714
II 連結売上高（百万円）	—	—	102,030
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.0	14.1	32.1

- (注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 アジア…韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、ベトナム、インドネシア、マレーシア等
 その他の地域…アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、ブラジル等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年9月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,224百万円を取得いたしました。この結果、当第2四半期会計期間末の自己株式数は2,452千株、取得価額の総額は10,380百万円となっております。

平成22年3月期 第2四半期決算発表(参考資料)

平成21年11月5日
リンナイ株式会社
(コード番号 5947)

連結決算の内容

連結状況 当社と子会社24社を連結しております。また、関連会社2社について持分法を適用しております。

1. 第2四半期累計期間の業績と機器別の売上

(1)業績 (単位:百万円)						(2)機器別売上 (単位:百万円)							
	当第2四半期累計			前第2四半期累計				当第2四半期累計			前第2四半期累計		
	実績	(売上比)	(前期比)	実績	(売上比)			実績	(構成比)	(前期比)	実績	(構成比)	
売上高	102,030	100.0	-10.9	114,479	100.0		厨房機器	36,337	35.6	-6.3	38,781	33.9	
営業利益	6,701	6.6	5.9	6,329	5.5		給湯機器	45,874	45.0	-9.0	50,414	44.0	
経常利益	7,009	6.9	14.2	6,138	5.4		空調機器	6,531	6.4	-23.1	8,496	7.4	
四半期純利益	4,043	4.0	22.8	3,292	2.9		業用機器	2,974	2.9	-13.4	3,434	3.0	
							その他	10,311	10.1	-22.8	13,351	11.7	
							合計	102,030	100.0	-10.9	114,479	100.0	

(3)設備投資額・減価償却費及び研究開発費 (単位:百万円)

	当第2四半期累計実績	前第2四半期累計実績
設備投資額	4,765	4,996
減価償却額	3,787	4,070
研究開発費	3,356	3,477

*「(前期比)」は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。

*「当第2四半期累計」平成21年4月1日～9月30日
「前第2四半期累計」平成20年4月1日～9月30日

2. 通期予想

(1)業績の推移 (単位:百万円)										
	22年3月期		21年3月期		20年3月期		19年3月期		18年3月期	
	予想	(売上比)	実績	(売上比)	実績	(売上比)	実績	(売上比)	実績	(売上比)
売上高	228,000	100.0	236,741	100.0	248,761	100.0	234,797	100.0	212,947	100.0
営業利益	17,000	7.5	15,069	6.4	15,124	6.1	12,739	5.4	10,260	4.8
経常利益	18,000	7.9	12,958	5.5	15,398	6.2	13,521	5.8	11,756	5.5
当期純利益	10,000	4.4	3,847	1.6	8,269	3.3	6,283	2.7	5,242	2.5

(2)機器別の売上高と構成比 (単位:百万円)										
	22年3月期		21年3月期		20年3月期		19年3月期		18年3月期	
	予想	(構成比)	実績	(構成比)	実績	(構成比)	実績	(構成比)	実績	(構成比)
厨房機器	81,400	35.7	81,166	34.3	78,573	31.6	74,746	31.8	66,049	31.0
給湯機器	102,000	44.7	106,567	45.0	111,625	44.9	103,087	43.9	92,860	43.6
空調機器	16,600	7.3	17,309	7.3	21,689	8.7	20,961	8.9	22,455	10.5
業用機器	6,700	2.9	6,226	2.6	7,729	3.1	7,371	3.1	6,396	3.0
その他	21,300	9.3	25,470	10.8	29,144	11.7	28,629	12.2	25,186	11.8
合計	228,000	100.0	236,741	100.0	248,761	100.0	234,797	100.0	212,947	100.0

(3)設備投資額・減価償却費及び研究開発費 (単位:百万円)					
	22年3月期	21年3月期	20年3月期	19年3月期	18年3月期
	予想	実績	実績	実績	実績
設備投資額	10,516	11,313	8,992	8,262	8,047
減価償却費	8,582	9,179	8,354	7,547	7,665
研究開発費	7,071	6,944	7,131	6,547	6,779

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。